

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



耳鼻咽喉科医長
辻 純

専門医資格等
日本耳鼻咽喉科専門医
京都大学 医学博士
京都大学臨床教授

専門分野
耳科学・耳鼻咽喉科

得意疾患
耳疾患
頭頸部がん
めまい



頭頸部外科医長
安里 亮

専門医資格等
日本耳鼻咽喉科学会専門医
気管食道科専門医
頭頸部がん暫定指導医
頭頸部がん専門医
内分泌・甲状腺外科専門医
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医

専門分野
頭頸部外科・甲状腺外科

得意疾患
頭頸部腫瘍
甲状腺腫瘍
頭頸部がん
甲状腺がん

| スタッフ |

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	牛呂 幸司	日本耳鼻咽喉科学会 専門医 日本耳鼻咽喉科学会 臨床研修指導医 日本がん治療学会 認定医	頭頸部がん・甲状腺がんの手術	頭頸部がん 甲状腺がん
医師	辻 拓也	日本耳鼻咽喉科専門医 京都大学 医学博士	耳鼻咽喉科一般	
医師	伊藤 通子	日本耳鼻咽喉科専門医 日本がん治療学会 認定医	耳鼻咽喉科一般	頭頸部腫瘍
専攻医	安田 佳織		耳鼻咽喉科一般	
専攻医	山本 卓矢		耳鼻咽喉科一般	

| 令和3年度の主な取組 |

施設認定

- ・日本耳鼻咽喉科学会学会認定 耳鼻咽喉科専門医研修施設
- ・日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度 指定研修施設
- ・日本内分泌外科学会専門医制度 認定施設
- ・日本気管食道科学会認定専門医研修施設

クリティカルパスは10種類活用している。

- ・喉頭微細手術 4日間
- ・免疫チェックポイント阻害剤（頭頸部がん） 3日間
- ・口蓋扁桃摘出術（小児用） 7日間
- ・口蓋扁桃摘出術（成人用） 8日間
- ・甲状腺全摘術（副甲状腺全摘） 8日間
- ・甲状腺全摘術（副甲状腺温存） 8日間
- ・甲状腺半切7日間 7日間
- ・甲状腺半切8日間（金曜入院） 8日間
- ・耳下腺・顎下腺・頸部腫瘍摘出術 7日間
- ・鼻副鼻腔手術（全身麻酔） 6日間

以下のように、甲状腺手術・頭頸部腫瘍（頭頸部がん）手術が多いのが特徴である。

- ・甲状腺手術 36件
- ・頭頸部腫瘍手術 129件（頭頸部がん手術 49件）

耳鼻咽喉科手術を中心に頭頸部がんでは低侵襲手術から再建を要する進行癌手術まで幅広く対応している

| 診療実績 |

入院患者数

	2020年度	2021年度
1日平均患者数（名）	15.7	16.9
新入院患者数（名）	440	495
平均在院日数（日）	13.2	12.5

外来患者数

	2020年度	2021年度
1日平均総患者数（名）	40.3	38.8

主な手術・検査の件数（2021年度）

耳手術	29件	甲状腺・副甲状腺手術	41件
鼻副鼻腔手術	31件	頭頸部腫瘍手術	129件

| 学術活動報告（学会・研究発表など） |

発表年月日	発表学会
演題名 等 / 演者（下線は当院所属）	
2021.05.13	第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
「人工内耳を装着した脳表へモジデリン沈着症の一例」 松本 昌弘、扇田 秀章、宮部 祥悟、小柴 彩菜、 <u>牛呂 幸司</u> 、伊藤 壽一	
2021.05.13	第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
「ステノン管原発が疑われた頬部扁平上皮癌の1例」 宮部 祥悟、 <u>牛呂 幸司</u> 、小柴 彩奈、松本 昌宏、扇田 秀章、藤野 清大	
2021.05.13	第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
「耳下腺・頸部リンパ節転移を認めた眼瞼結膜原発扁平上皮癌の一例」 小柴 彩奈、 <u>牛呂 幸司</u> 、宮部 祥悟、扇田 秀章、松本 昌宏、藤野 清大	
2021.05.14	第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
「咽喉頭癌の切除後に対するPGAシート被覆術」 安里 亮、山本 卓矢、安田 佳織、長原 佳菜、 <u>伊藤 通子</u> 、辻 拓也、辻 純	
2021.06.12	第137回日耳鼻京滋合同地方部会学術講演会
「MeAIB-PETの有用性の検討」 小柴 彩奈、 <u>牛呂 幸司</u> 、松本 昌宏、扇田 秀章、宮部 祥悟、藤野 清大、奥山 智緒、大森 孝一	
2021.07.02	第33回日本頭蓋底外科学会
「外耳道癌に対する側頭骨全摘・側頭骨外側切除の実際と治療成績」 <u>安里 亮</u>	
2021.10.28	第54回日本内分泌外科学会
「甲状腺・副甲状腺手術における抗血栓療法の影響」 <u>牛呂 幸司</u> 、嘉田 真平、山本 卓矢、安里 亮	

発表年月日 演題名等 / 演者 (下線は当院所属)	発表学会
2021.10.29	第54回日本内分泌外科学会
「甲状腺癌を含む4重複癌の1例」 山本 卓矢、安里 亮、嘉田 真平、牛呂 幸司	
2021.10.29	第54回日本内分泌外科学会
「癌としての切除術が可能であった副甲状腺癌例」 嘉田 真平、安里 亮、牛呂 幸司	
2022.03.04	第31回日本頭頸部外科学会
「心臓転移をきたした舌癌の一例」 安田 佳織、山本 卓矢、伊藤 通子、辻 拓也、牛呂 幸司、安里 亮、辻 純	

| 投稿論文など |

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社 著者 (下線は当院所属)
<p>〔原著論文〕 進行下咽頭癌における両側外側咽頭後 (ルビエール) リンパ節郭清の有効性 耳鼻臨床2021年114巻11号 p. 869-874, 114, 11, 869-874, 2021.11.01, 耳鼻咽喉科臨床学会 伊藤真裕子、安里 亮、辻 拓也、森田 真美、嘉田 真平、辻 純</p>
<p>〔解説〕 前癌病変の取り扱い ―口腔癌とその周辺― JOHNS, 37, 525-528, 2021.05.01, 東京医学社 安里 亮</p>
<p>〔原著論文〕 Lingual Lymph Node Metastases as a Prognostic Factor in Oral Squamous Cell Carcinoma—A Retrospective Multicenter Study Medicina (Kaunas). 2021 Apr 12 ; 57 (4) : 374, 57, 4, 374, 2021.04 Kikuchi M, Harada H, <u>Asato R</u>, Hamaguchi K, Tamaki H, Mizuta M, Hori R, Kojima T, Honda K, Tsujimura T, Kumabe Y, Ichimaru K, Kitani Y, <u>Ushiro K</u>, Kitamura M, Shinohara S, Omori K.</p>
<p>〔原著論文〕 Clinicopathological Characteristics and Survival Outcomes of Patients with Buccal Squamous Cell Carcinoma : Results of a Multi-Institutional Study Medicina (Kaunas). 2021 Dec 13 ; 57 (12) : 1361., 57, 12, 1361, 2021.12 Shinohara S, Kikuchi M, Harada H, Hamaguchi K, <u>Asato R</u>, Tamaki H, Mizuta M, Hori R, Kojima T, Honda K, Tsujimura T, Kumabe Y, Ichimaru K, Kitani Y, <u>Ushiro K</u>, Omori K.</p>
<p>〔原著論文〕 Real-world 2-year long-term outcomes and prognostic factors in patients receiving nivolumab therapy for recurrent or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck Auris Nasus Larynx. 2022 Feb 26 : S0385-8146 (22) 00038-4, 2022.02 Otsuki S, Hori R, Shinohara S, Kojima T, Tamaki H, <u>Asato R</u>, Kitamura M, Ichimaru K, Kitani Y, Kumabe Y, Honda K, Tsujimura T, Harada H, <u>Ushiro K</u>, Omori K</p>
<p>〔原著論文〕 Airway ciliated cells regenerated on collagen sponge implants acquire planar polarities towards nearby edges of implanted areas J Tissue Eng Regen Med., 15, 8, 712-721, 2021.08 Nakamura R, Katsuno T, <u>Tsuji T</u>, Oyagi S, Kishimoto Y, Suehiro A, Tateya I, Omori K.</p>